

製品名: SC35 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87432**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:26 kDa; Observed MW:35 kDa

抗原情報

遺伝子名	SC35
別名	SC35; PR264; SC-35; SFRS2; SFRS2A; SRp30b
遺伝子 ID	6427
SwissProt ID	Q01130
免疫原	ヒト SC35 の合成ペプチド

背景

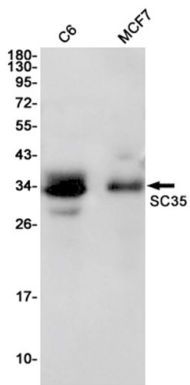
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン / アルギニン（SR）に富む pre-mRNA スプライシング因子ファミリーの一員

であり、スプライソソームの一部を構成し、RNA 認識モチーフ (RRM) と他のタンパク質との結合に用いられる RS ドメインを含む。RS ドメインはセリンおよびアルギニン残基に富み、異なる SR スプライシング因子間の相互作用を促進する。SR タンパク質は mRNA スプライシングに重要であるだけでなく、mRNA の核外輸送や翻訳にも関与することが示唆されている。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2 つの転写バリエーションと、1 つの非コード転写バリエーションが見ついている。さらに、この遺伝子の偽遺伝子が 11 番染色体上に見ついている。[RefSeq 提供、2010 年 9 月]

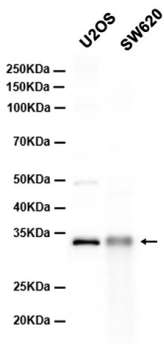
研究分野

-

画像データ



SC35 抗体 (1:1000 希釈) を使用した C6、MCF7 細胞溶解物中の SC35 のウェスタンブロット検出。



AMRe87432 を 1:1000 で使用して U2OS、SW620 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。